

漁海況情報第7報 (2020年10月8日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

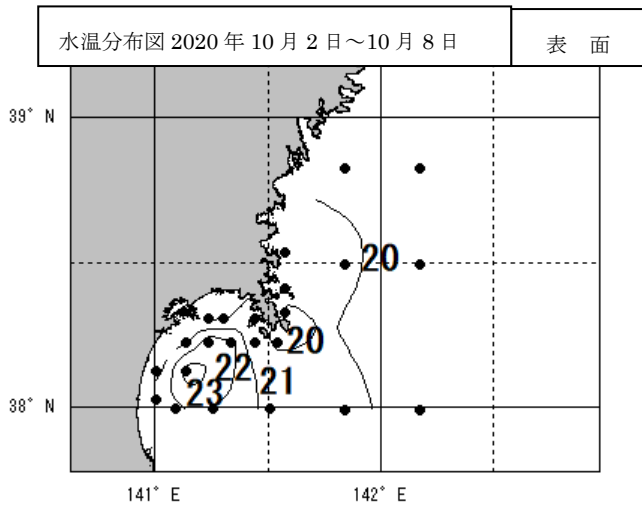
表層水温は仙台湾中央部で高め、湾外では平年並みとなっています。

宮城県沿岸の表面水温は19～23℃台、100m深水温は8～15℃台となっています。表面水温は仙台湾内で平年並み～2℃高め、沿岸で平年並みです。100m水温は、一部の調査点で低くなっており冷水の波及がみられます [P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。鉛直断面図は図のとおりです。 [P2. 水温鉛直断面図]。

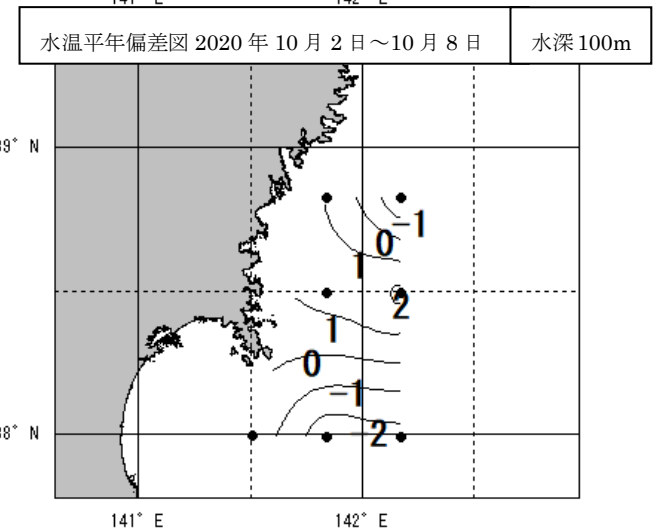
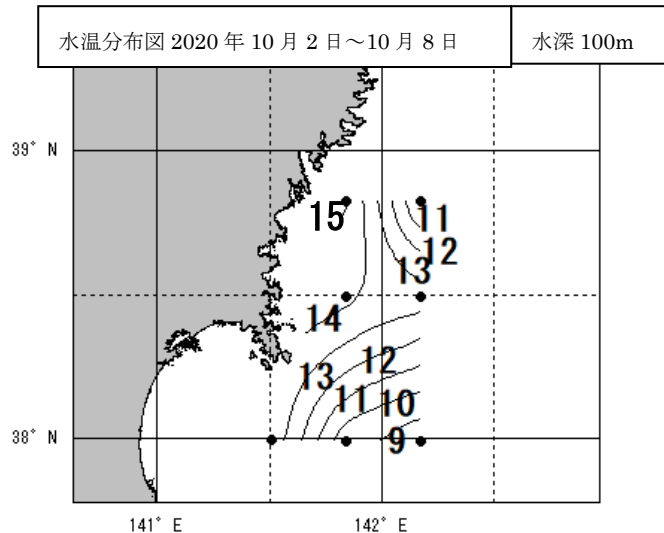
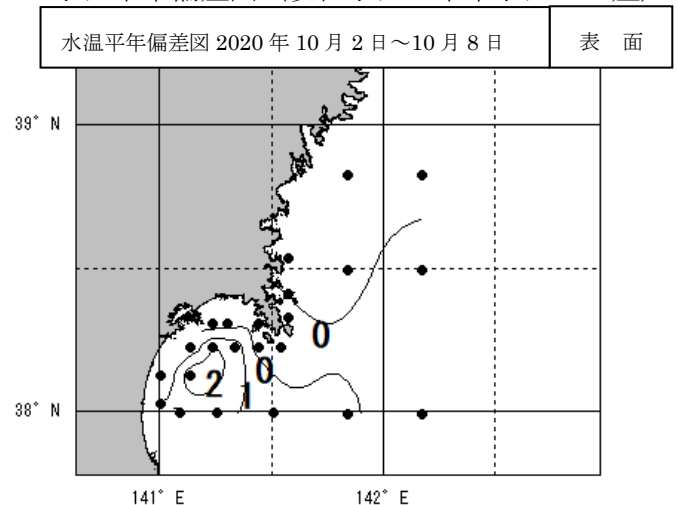
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第一分枝は十勝南20海里で停滞し、20℃台の暖水が宮城～岩手沖60～140海里を北上しています。 [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

9月下旬の定地水温は21～22℃台で、歌津で平年よりやや高め、その他の調査点では平年並みとなっています。江島は観測機器をメンテナンス中のため欠測となりました [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は7～21℃台です [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図

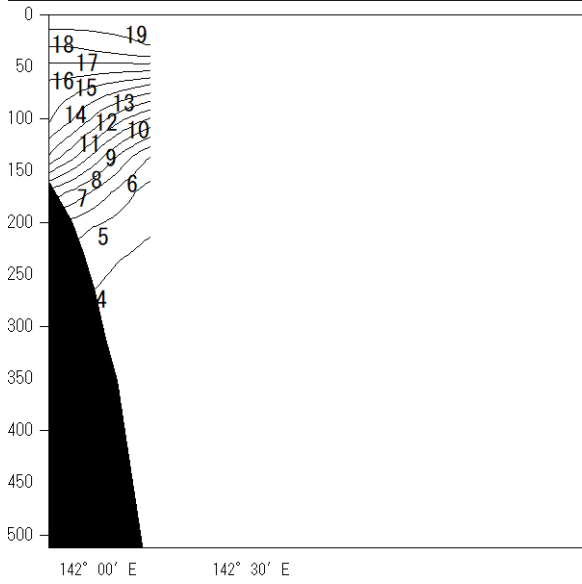


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

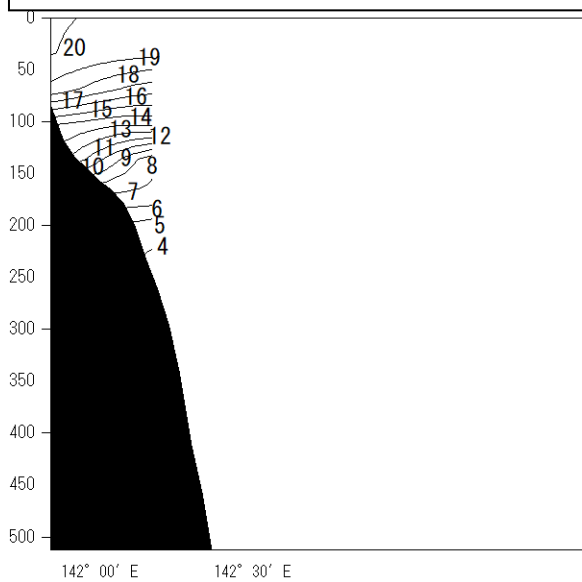


・水温鉛直断面図

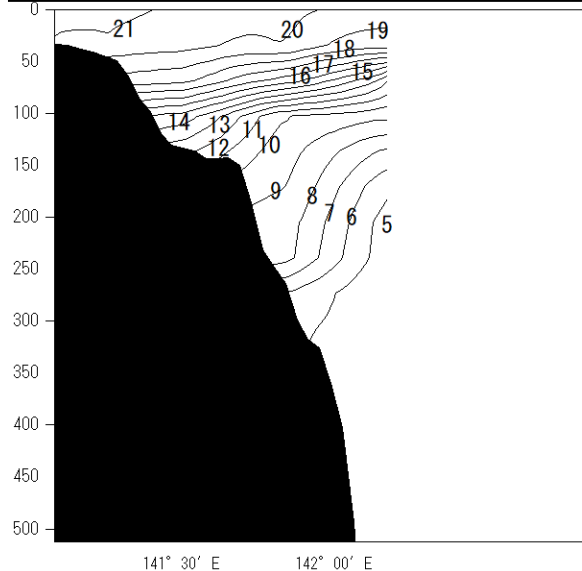
38° 50' N ライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' N ライン (雄勝沖合ライン)

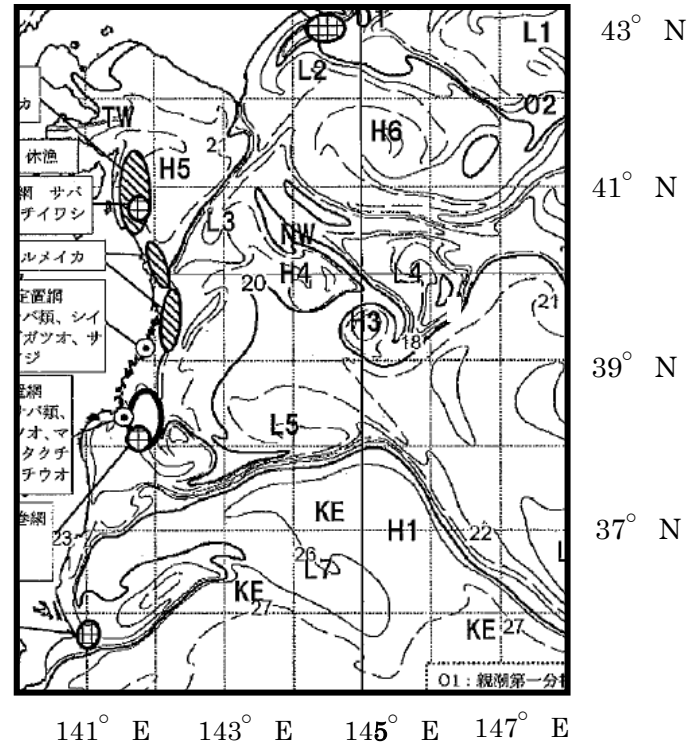


38° 00' N ライン (亶理沖合ライン)



2020年10月5日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

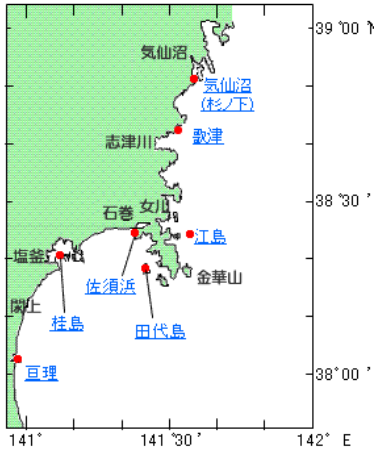
【海況】 (10月5日表面水温)

- ・親潮第一分枝の先端は十勝南 20 海里で停滞。
- ・津軽暖流は下北の東 80 海里付近まで張り出しています。
- ・黒潮続流は犬吠埼沖東 40 海里を東北東へ進み北茨城沖に達しています。
- ・20℃台の暖水が宮城～岩手沖 60～140 海里を北上し、道東沖暖水塊を形成。
- ・津軽暖流と親潮系水の混合水は 18～19℃台が久慈～大槌、20～21℃台が釜石～九十九里に分布しています。

【漁況】 (10月2日～5日)

- ・まき網：1 そうまき網は1ヶ続が仙台湾沖でワカシを漁獲。2 そうまき網は八戸沖でカタクチイワシ、犬吠沖でマアジ主体に漁獲。
- ・定置網：石巻はブリ類、サバ類、マイワシ主体。大船渡はブリ類とサバ類主体。
- ・カツオ竿釣：中部海域と千葉～岩手沖でのべ 100 隻がカツオを平均 3.4 トン漁獲。
- ・サンマ：2 夜操業するも低調。
- ・スルメイカ：石巻の底曳網は 3 日操業し 30～39 トンを水揚げ、体重平均 170～190g。

・定地海洋観測



	9月下旬		平年差	前年差
	観測値	傾向		
気仙沼(杉ノ下)	21.1	平年並み	0.6	-0.1
歌津	21.7	やや高め	1.3	-0.1
江島	メンテナンス中			
田代島	22.1	平年並み	0.6	-0.3
佐須浜	21.7	平年並み	0.0	-0.7
桂島	22.2	平年並み	-0.2	0.1
巨理	21.9	平年並み	-0.1	-1.0

※平年値＝過去30年

※佐須浜(過去10年)

※歌津(平成28年12月から観測再開)

※桂島(平成24年3月から観測開始)

※巨理(平成24年10月から観測開始)

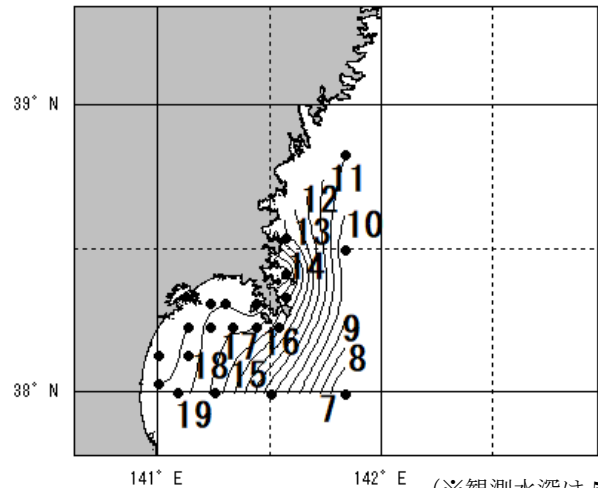
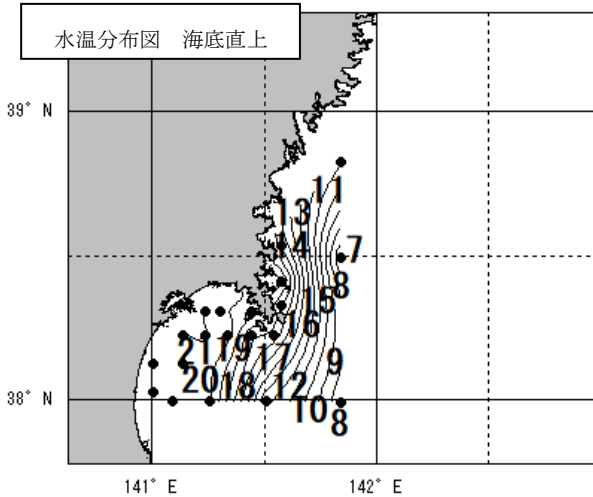
※最新の定地海洋観測結果は、

<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2020年10月2日～10月8日)

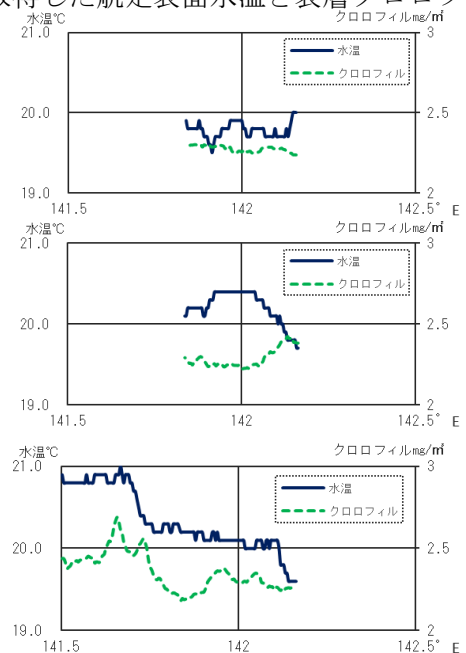
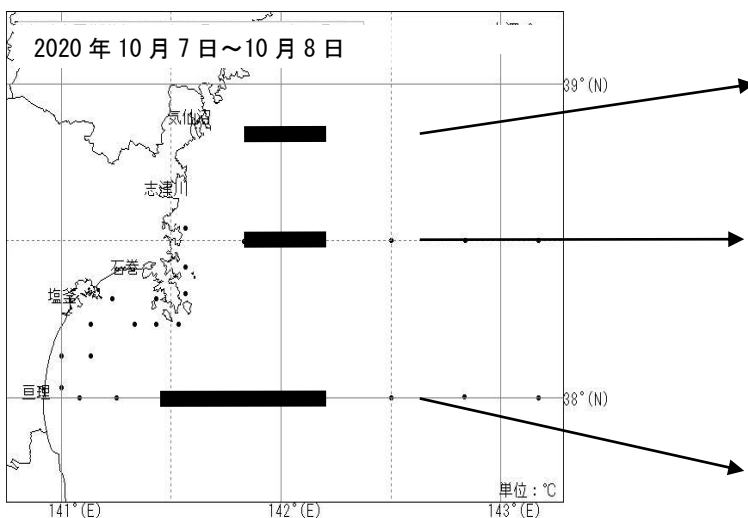
・海底直上水温(2019年10月1日～10月2日)



(※観測水深は500mまでです)

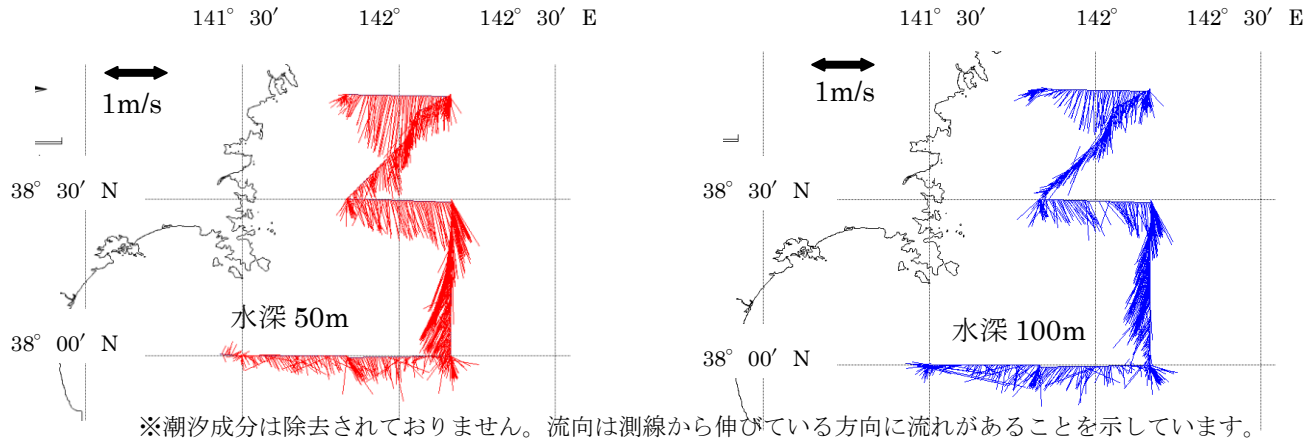
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温と表層クロロフィル濃度は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。北よりの流れが卓越しています。



4. 漁況

9月の水揚量は前年と比較して、マイワシ、クロマグロ、ガザミなどが増加しています。ビンナガ、シロサケ、マアジなどは減少しています。なお9月末日現在、サンマの県内水揚げはまだありません。

(単位：トン)

2020年9月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ									6		0	6	18%
メバチ			1		46				167		16	230	75%
クロマグロ			200			2	0		1	1	0	204	429%
キハダ			150		5				6	3	2	166	105%
カツオ			1240		2031		0		0	1	441	3714	59%
サハ類	1094	42				194	13				21	1363	101%
ブリ類	1	0				356	1				8	366	58%
マアジ	23	20				17	1				0	61	41%
ヒラメ	0	2				1	4				3	10	62%
マコガレイ	1	6				0	1				1	8	62%
マガレイ		1				0	0					1	45%
マイワシ		0	5056			68					12	5136	859%
カタクチイワシ						22					25	46	106%
マダラ	2	0					0		0		6	8	59%
サワラ	0	0				29	1		0	0	1	31	104%
シロサケ	1	0				1	3				4	9	28%
ガザミ		0				0	17				46	63	215%

※0は1トン未満を示しています。

5. 調査船運航計画

みやしお	
10/12	カレイ類発生量調査
10/15~16	沖合定線調査
11/5~	サンマ漁場調査
開洋	
11/5~	サンマ漁場調査